令和５年１月 31 日

出資の受け入れについて

本日、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から、支援に伴う出資 94 億円を受け入れましたので、お知らせします。

このような支援を受けることに深く感謝するとともに、今回の支援を有効活用し経営改善に取り組んでまいります。

１ 今回の出資の受け入れについて

日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律の改正により、「生産性の向上に資する施設等の整備及び管理に必要な資金」を出資により受けることが可能となり、本日１月 31 日付で、当社の株式を 100％保有している独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から、出資 94 億円を受け入れました。これは令和５年度までの支援 1,302 億円の一部であり、支援総額に変更はありません。

（出資の受け入れ前）

資産の部	負債の部	
	純資産の部	
	資本金	90 億円
	資本準備金	2,064 億円

（出資の受け入れ後）

資産の部	負債の部	
	純資産の部	
	資本金	90 億円
	資本準備金	2,158 億円

２ 支援の有効活用について

今回受けた支援につきましては、車両の新製、雪害対策、地上設備のリニューアルなど、システムチェンジを進めるために有効活用してまいります。

（参考）独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構について

平成１５年１０月設立。鉄道の建設や、鉄道事業者、海上運送事業者などによる運輸施設の整備を促進するための助成などの支援を行うことを通じて、大量輸送機関を基幹とする輸送体系の確立などを図ることを目的としています。